タイトル	「ノーモアヒロシマ」
ポーランド語のタイトル	Nigdy więcej tragedii z “Hiroshimy”!
テーマ *	d
名前	クラウディア・テルシェフスカ
ポーランド語の名前	Klaudia Telszewska
学校名 * 2	祭語学学校・Matsuri – Szkoła Języków Orientalnych
学年	高校 1 年生

*a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

「ノーモアヒロシマ」

これはどういう意味なの？

ノーモア... もうたくさんだ。

何気なくつけたテレビの画面で、一人の女性がそう言っていました。

皆さんにはこの言葉の深い意味が分かりますか。

広島は二度と繰り返さないという意味です。

2010 年の 6 月にグダニスクにピースボートが着きました。ピースボートとは地球一周をはじめとする「国際交流の船旅」のことです。具体的には船で世界をめぐることから、地球の大きさを体感し、人と自然、そして文化とつながる旅のことです。そして、今回はグダニスクに被爆者の皆様方が来ることになったのです。グダニスクの市長のパベウ・アダモビッチや独立自主管理労働組合「連帯」の人たちも訪れました。私も通訳者の日本語の先生に付き添ってそこにいました。残念なことに私以外小中学生はいませんでした。

それからはしばらく放心の日が続きました。

戦争は 70 年前におこった出来事。戦争を体験している人たちは、六十一歳以上の人たちなのです。この人たちが生きていくうちに聞いておかないと、だれがわたしたちの次の世代に、そのことをつなげていくのでしょうか？

戦争を体験した人たちがいくら話す気にはなっても、話す場所がなければ、多くの人には伝わりません。その日の被爆者の方たちの声は今でも聞こえてきます。ですから、私は、学校の授業の中に戦争体験者の訪問や戦争博物館や戦争映画観賞を取り入れたらいいと思うようになりました。

私に何ができるのだろうか？

それが、ある日、日本穂の先生に勧められて「はだしのゲン」を見ました。これだ！これなら、みんなにも伝わるんじゃないか！先生に手伝ってもらい、「はだしのゲン」のポーランド語訳を自分なりに作りました。そして、歴史の時間にクラスのみんなに見せました。

いつもは 10 分でもすぐ無駄話をするみんななのに、今は口をぽかーんとあけて見えています。見終わると急にクラスの誰かが「もっと知りたい。なんで。どうして。ひどいよ。」と言った。私は正直とても驚いた。

「私なら絶対泣いてばかりだわ。」などという子も多くいた。

伝わった！被爆者の方たちみたいに私もみんなに伝えるんだ。「ノーモアヒロシマ」を心に刻んで…